

熊谷市の農産物を食べよう！

《新鮮だから料理が美味しい》

市では、『地域でとれた生産物を地域で消費する』地産地消を推進しています。

地元でとれた農産物は新鮮です。新鮮だから美味しい。地元産だから安心できる。地元の農産物を使った美味しいレシピを紹介します。

◆農業振興課(妻沼庁舎) ☎048・588・1321

地産地消の取り組み

直売所

J Aくまがやのふれあいセンター(箱田店、久保島店、大里店、江南店、妻沼店)および今年開店した地産市場かまくらで地元農産物が購入できます。

熊谷農産物コーナー

市内スーパーでは地場産コーナーを設置し、積極的に地元農産物を取り扱う店舗があります。「くまがや農産物コーナー」のぼり旗が目印です。



学校給食

給食センターで使われているお米は、すべて熊谷産です。

ミニくまシリーズ

食べきりサイズで、持ち運びも楽、食べてもとっても美味しいミニ野菜です。



地元産の おいしいレシピ



ミニくま	花なべ
------	-----

【材料】6人分	
ミニカリフラワー 1個	ミニ白菜 1個
ミニチンゲンサイ 1パック	ミニ大根 1本
鶏手羽元肉 6本	和風だしの素 5g

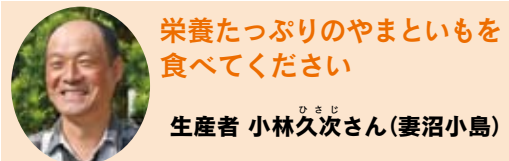
- 【作り方】
- ①カリフラワーの軸に十字の切れ目を入れ、白菜は5cm、大根は1.5cmの輪切りにする。
 - ②鶏肉は湯通しして、塩・こしょう(分量外)をふって炒める。
 - ③大きめの土鍋の中に①のカリフラワーを中心に大根・白菜を“花のように並べて”水と和風だしの素を入れて強火にかける。
 - ④煮立ったら中火にし、②を加えて煮込む。
 - ⑤材料が柔らかくなったら、チンゲンサイを入れ、塩で味を整えて、火を止める。

第7回熊谷市 産業祭

農産物の共進会や即売会を開催しますので、ぜひお越しください。

とき 11月19日(土)・20日(日)
10時～15時

ところ 熊谷スポーツ文化公園内(彩の国くまがやドーム、にぎわい広場)



やまといもは明治時代から妻沼地域で栽培されていて、現在では県内一位の生産量を誇ります。最近では扇形のものよりもまっすぐに長い形の芋のほうが好まれるため、水やりなど、手間をかけて栽培しています。

消化がよく、栄養たっぷりなので、食欲がないときや疲れているときに食べると元気になるですよ。

やまといも

コクがあり、粘りが強い

保存のコツ

新聞紙にくるみビニール袋に入れ、冷蔵庫の野菜室で保存してください。

SHIORI のネギ塩豚のとろろ丼

本市出身でフードコーディネーターとして活躍する SHIORI さんが講師を務めた「熊谷野菜で夏ごはん」クッキング教室(8月2日開催)のレシピです。

【材料】4人分

《ネギ塩豚》

- 豚バラ薄切り肉 280g 長ネギ 1本(約70g) サラダ油 大さじ1
- A 顆粒鶏からスープの素 小さじ1と1/2 こま油 大さじ1
- サラダ油 大さじ1 塩 小さじ1/3 レモン汁 大さじ1
- 黒こしょう(粗びき) 適量

《とろろ》

- 大和芋 250g ごはん 丼4杯分 刻みのり 適量 しょうゆ 適量
- B だし汁 50ml 卵 1個 しょうゆ 小さじ1 白ゴマ 小さじ2
- みりん 小さじ1/2

【作り方】

- ①大和芋は皮をむいてすりおろし、Bとよく混ぜる。
- ②長ネギはみじん切りにし、Aと合わせる。
- ③豚肉は5cmに切り、フライパンに油をひき、炒める。色が変わったら②のタレを絡めて火からおろす。
- ④丼ぶりにごはん、とろろ、③、刻みのりをのせ、好みでしょやまとくんうゆをたらして食べる。



ねぎ

白根が長く、柔らかで甘みが多い

保存のコツ

むきねぎは新聞紙に包んで冷暗所に置きます。土付きねぎは、日の当たらない土中に斜めに埋めておきます。



ねぎ棒

- 【材料】4人分
- 長ネギ 1本 小麦粉 500g
- ゴマ 20g みそ 100g
- 水 80～100cc
- サラダ油 適量 唐辛子 適量

【作り方】

- ①長ネギを細かく刻む。
- ②ボールに全ての材料を入れ、固くこねる(水は固さをみて加減する)。
- ③めん棒で伸ばし、約1cm幅に切る。
- ④170～180℃の油で、きつね色になるまで揚げる。



ねぎちゃん

にんじん

カロテン含有の高い品種で、味に定評あり

調理のコツ

にんじんに多く含まれるカロテンは油と一緒に摂ると吸収が高まります。



にんじんとおかからの仲良し揚げ

【材料】4人分

- 豆腐 175g
- おかから 175g
- A にんじんのすりおろし 40～50g
- ネギのみじん切り 1/2本
- みそ 約30g しょうゆ 小さじ1
- 片栗粉 大さじ2

【作り方】

- ①豆腐は水切りをしておく。
- ②水切りをした豆腐と、おかから、Aを良く混ぜ、一口大の大きさにし、油で揚げる。



じんたくん

かぶ

水田春こかぶは、白くて甘く、柔らかい

調理のコツ

新鮮なうちに調理をしましょう。煮る場合は、火が通りやすいので、煮すぎないように注意しましょう。



かぶのそぼろあんかけ

【材料】4人分

- かぶ 5個
- とりひき肉 50g
- 豆腐 1/2丁
- 炒め油(サラダ油) 適量
- 片栗粉 適量
- A しょうゆ 大さじ1強
- かつおぶし 1/2パック みりん 大さじ1強
- 酒 大さじ1 砂糖 大さじ1/2

【作り方】

- ①かぶは茎を約2cm残して、縦に6～8等分にくし形に切り、茹でてざるにあげる。
- ②フライパンに油を熱し、とりひき肉を入れ炒める。水切りした豆腐とAを入れ、ぼろぼろになるまで炒める。
- ③②に水に溶かした片栗粉を入れ、とろみをつけ①のかぶにかける。



かぶまるこちゃん

※野菜の特長は、熊谷産の主な品種の特長を記載しています。



市長表敬

インバーカーギル市より訪問団来たる

10月11日、姉妹都市インバーカーギル市(ニュージーランド)からの訪問団が市長を表敬訪問しました。10日から13日まで熊谷に滞在し、市内各所を視察しながら交流を深めました。



野球インドネシア代表が熊谷でキャンプ！

10月5日、野球インドネシア代表が市長を表敬訪問しました。監督は本市出身の原田勝美さんが務めています。11月にインドネシアで開催されるASEANの大会に向けて最終調整を行いました。



遊びがたくさん ウキウキワクワク

晴天に恵まれた9月18日、「第4回子どものための子どもによる子どもの遊びの祭典」が桜木小学校で行われました。子どもたちからなる「遊びの先生」と一緒に楽しい一日を過ごしました。



訓練の成果を華麗に披露

10月8日、消防本部庁舎で、市消防団本部女性小隊によって軽可搬ポンプ操法展示が行われました。日々の訓練で洗練されたスピードのある操法で全国大会上位入賞を狙います。



よっこいしょ！ 掘って植えて農業体験

農業活性化センター「アグリメイト」で10月2日、みんなで農業体験・料理教室が開催されました。第9回となるこの日の作業は、落花生の収穫と白菜の苗、赤かぶの種まきを行いました。



勉強の成果、堂々と発表

10月16日、商工会館大ホールにて「第19回外国人による日本語スピーチコンテスト」が開催されました。自分の日頃感じていることを、持てる力を出し切り日本語でスピーチをしました。



最優秀賞
王丹妮さん



長〜い絵でおもてなし

妻沼聖天前バスターミナル周囲に取り付けてある絵看板が、本殿の保存修理工事完了にあわせて新たに生まれ変わりました。仲町なかよし商店会や妻沼高校美術部の皆さんによって、一筆一筆丁寧に参拝客等をおもてなしする心で描かれました。



江戸の趣、現代によみがえる

10月2日、江戸時代の松茸献上を再現した第22回「太田松茸道中」が行われました。当時の衣装に身を包んだ一行は、まるでタイムスリップして来たかのように。群馬県太田市の大光院から妻沼聖天山まで元気よく練り歩きました。



秋の味覚！栗を収穫

9月24日、江南地区において、熊谷の魅力をPRするイベント「グリーンツーリズム イン 江南」が行われました。晴天のもと、たくさんの参加者が栗拾いに夢中になりました。



熊谷の夜に熱き戦い

9月18日、J1リーグ第26節大宮アルディージャ対セレッソ大阪の試合が熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で開催され、熱き戦いに観衆は魅了されました。



みどりのカーテンでクールな夏を

一般家庭や事業所、小・中学校で実施したみどりのカーテンの写真コンテストである「第3回みどりのカーテンコンテスト」の表彰式が9月28日に行われ、涼しげな作品が数多く出揃いました。

みどりのカーテンは見た目にも涼しく、比較的手軽にできるエコな暑さ対策です。



最優秀賞 堀口邸



優秀賞 井上邸

市報クイズ8月号で寄せられたご意見を紹介します。

おたよりパレット

テーマ

市内のおすすめ 紅葉スポット

市内には、身近で楽しめる紅葉スポットがあります。散歩しながら紅葉を眺めるのは、健康的ですし、この時期ならではの贅沢ですね。

※おたよりパレットは、市ホームページでも更に詳しく紹介しています▶<http://www.city.kumagaya.lg.jp/>

- 久下橋から望む荒川と対岸の紅葉です。遠近感があり、晴れた日には秩父連山や富士山を望むことができ、紅葉を引き立たせてくれます。荒川に目を向けると、一面にススキの穂がなびきます。哀愁漂う秋の紅葉スポットです。(50代・女性)
- ひろせ野鳥の森が素晴らしい紅葉スポットです。家から近いので、朝の散歩等で利用しますが、とても気持ちがいいです。(60代・男性)
- 別府沼公園の黄金色に染まる木々がとてもきれいです。(40代・男性)
- やっぱりスポーツ文化公園です。色々な樹木が植えられているので、グラデーションが美しい！子どもと一緒に落ち葉やドングリ拾いも楽しめます。カサカサと音を立てながら葉が落ちる瞬間も見られます。(40代・男性)
- 星溪園です。建物、庭園、紅葉が見事です。まるでプチ京都旅行にきたような気分を味わえます。(30代・男性)
- 中央公園がおすすめです。毎年11月になると、主人と散歩しに行っています。(50代・女性)

応募方法

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「新年のお楽しみ」についてのコメントを必ず記入のうえ、11月24日(木)までにご応募ください(一人につき一通)。※コメントがないものは無効となります。《応募先》

〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課
☐kohokocho@city.kumagaya.lg.jp

※なお、市内の商店・企業を知っていただくという趣旨で、当選者にはプレゼント引換券をお送りしますので、お店でご利用ください。当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

9月号の 正解

- ①みはらし ②動物愛護
◆応募総数81通中、正解74通

今月のテーマ「新年のお楽しみ」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。詳しくは、広報広聴課☎内線212までお問合せください。

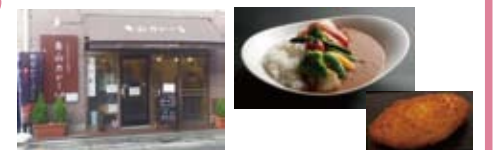
今月の問題

- 次の□に入ることばを、それぞれお答えください。
①食べきりサイズで、持ち運びも楽な美味しいミニ野菜、ミニ□シリーズをぜひご利用ください。
②11月は「□・若者育成支援強調月間」です。

今月のプレゼント

青山カレー工房ご提供の、青山野菜カレーと熊谷カレーぱんを、正解者の中から抽選で20人に差し上げます。

青山カレー工房 所在地:銀座2-10-2 アネックス銀座1階 電話:048-598-8091



市報クイズ



小さい頃から野球を続けてきました。熊谷商業高校時代、厳しく指導されたおかげで、甲子園へ2回出場することができました。卒業後は、約1年間社会人野球を経験し、プロからの誘いもいただきましたが、熟考の末、城西大学で野球をする道を選びました。

選手から監督へ

情熱世代 夢追い人

自分の経験を伝えていきたい

野球インドネシア代表監督
原田勝美さん(宮町)

転機は訪れた

海外への扉

大学では2年の秋から選手兼監督という立場で野球をすることになり、これが私の監督人生の始まりです。卒業後、チームが低迷していた際に再び監督として呼び戻されました。31歳の時です。以降30年間、城西大学の監督としてお世話になりました。

監督引退後は、これまでの経験を生かし野球の普及・指導をしたいと考えていました。監督として大学を率いている間、アジアのチームとの交流試合などもあり、それらがきっかけで外国での普及・指導の話がいたどくようになりました。これが私にとって海外への扉となったのです。中国やサイパンなどで活動を続けてきましたが、去年の9月、縁あってインドネシア代表監督に就任することになりました。インドネシア代表に課せられた使命はASEANの大会で金メダルを取ることです。プレッシャーはありますが、やる以上は自分に求められていることを実現したいです。そのために最善を尽くして頑張ります。

経験を伝えることが役目

指導で心掛けていることは、やはり基本の大切さ。基本を大事にすることは、上手くなるためだけではありません。怪我や故障の防止につながるのです。インドネシアでは代表の練習の合間に、地元の子供たちにも野球を教えています。体や足の正しい使い方を教えるようにしています。培ってきた経験を多くの子供達や選手達に伝え、健全な心身をはぐくむこと、そして、スポーツを通じた社会貢献が自分の役目だと思っています。

私はこれまで海外での活動を通して様々な方と交流してきましたが、未来ある若者にもっと世界で羽ばたいてほしいですね。



左から3人目が原田さん

RUGBY WORLD CUP 2019年にラグビーワールドカップが日本にやってくる！

第1回

(C)2011, JRFU(photo by H. Nagaoka)

本年、9月から10月にかけてラグビーワールドカップがニュージーランドで開催されました。

日本代表は予選プールで1分3敗の成績でした。ラグビーワールドカップは、1987年に、第1回大会が開催以後、国際ラグビー評議会(IRB)の主催大会として4年ごとに開催され、大会ごとに規模が大きくなり、現在、開催規模ではオリンピック、FIFAワールドカップに次ぐ世界の三大スポーツイベントに数えられています。

日本ラグビー協会は、日本での開催をめざし、第7回・8回大会と立候補しましたが実現には至らず、平成21年7月に開かれたIRBの理事会で、2019年の第9回大会の開催地として決定されました。8年後に日本で開催されることは、あまり知られていませんが、2007年に開催されたフランス大会は、93の国と地

域が予選に参加しました。本大会は20の国と地域が出場し全48試合で225万人の観客を動員し、テレビの放映国数は238で40億人が観戦したといわれるほど、日本では想像もつかないメジャーなスポーツ大会なのです。

埼玉県ラグビー協会と市は、国内有数のラグビー場である熊谷ラグビー場での試合開催をめざし、ラグビーワールドカップ2019埼玉県招致委員会を設立し、全県下で署名活動を展開しています。

このコーナーでは、ラグビーワールドカップの歴史やワールドカップにまつわる話、本市に関係する選手等の活躍などをシリーズで紹介していきます。

ラグビー豆知識

ラグビーは、1832年頃、イングランド中部の町ラグビーにあった「ラグビー校」で行われていたフットボールの試合中にウエブ・エリスがルールを破ってボールを手に持って走り出したことが発祥の起源とされています。ウエブ・エリスのルール破りは1845年にラグビー校でルール化され、そして、1871年、イングランドにラグビー協会が設立され、現在に至るラグビーが確立されました。ワールドカップの優勝カップは、その名を冠して、「エリスカップ」と言われています。



(C)2011, JRFU
エリスカップ

【次回は1月号に掲載します】

人口と世帯

●平成23年10月1日現在(対前月比)

■人口 204,276人(-103) 男 102,016人(-26) 女 102,260人(-77) ■世帯 82,354(±0)

「市報くまがや」11月号は、72,000部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり15円です。

「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。

平成23年(2011)11月 市報くまがや 32